記者発表
Press Release

国土交通省　東北地方整備局
青森河川国道事務所
Aomori office of river & National highway

鶴と国際交流の里
鶴田町 TSURUTA TOWN



平成２８年１１月２４日
青森河川国道事務所
鶴　　田　　町

鶴田町自主防災組織が岩木川改修工事現場を見学

～岩木川等大規模水害に備えた減災対策事業説明会開催～

現場見学は、５月に設立した「岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会」における取り組みの一環として行われるもので、鶴田町の４地区の自主防災組織の皆様を対象に、その取り組み内容を知っていただく事を目的に行います。

鶴田町管内の岩木川改修事業等について、鶴田町長はじめ町担当者、青森河川国道事務所担当者らと一緒に現場を巡り、工事の進捗状況や今後の工事等について確認いたします。

なお、見学前には岩木川における減災対策の取り組み状況の説明を行います。

１．開 催 日 時：**平成 28 年 11 月 28 日（月）１０：００～１１：３０**

２．概　　要：１）挨拶　鶴田町長
２）減災対策に関する状況説明
３）現場見学・・・保安橋架替工事、鶴田左岸地区築堤工事

（集合場所等）※上記１）、２）については、鶴田町役場会議室にて行います。
現地見学の場所・行程等の詳細については、別添の『見学会行程』を参照願います。

３．参　加　者：鶴田町自主防災組織各地区代表者　12 名程度
菖蒲川地区、大性地区、木筒地区、野木地区の４地区

（記者発表先）青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

問い合わせ先

■国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
青森市中央三丁目２０－３８
電話　０１７－７３４－４５２１（代表）
副所長（河川担当）　平山（ひらやま）　孝信（たかのぶ）（内線２０４）
工務第一課長　工藤（くどう）　尚武（なおたけ）（内線３１１）

■鶴田町
北津軽郡鶴田町早瀬２００－１
電話　０１７３－２２－２１１１
建設整備課長　成田（なりた）　正利（まさとし）

平成28年11月28日　岩木川改修工事現場見学行程

※10:00～10:30
概要説明

鶴田町役場
10:35発
11:30着

①保安橋
10:40～11:00

②築堤工事
11:05～11:20

五所川原雨量観測所（気）◎
五所川原消流雪取水樋管
五所川原上水道取水塔（五所川原市）
五所川原大橋（県）
下古川排水樋管
みずべのわんぱく広場
鶴田水辺の楽校
鶴寿桜づつみ
鶴寿橋（県）
鶴田第二排水樋管
鶴田消流雪取水機場
鶴昌排水樋管（枝川鶴田土改）
鶴田町
柏第一排水樋門
桑野木田放水路排水樋管（西津軽土改）
水元第二排水樋管
水元第一排水樋管
保安橋（県）
川村排水樋門
新和排水樋管
三和大橋（県）
大蜂川第一排水樋管
大蜂川揚水樋管（西津軽土改）
大蜂川サイフォン
大蜂川第二排水樋管
上中畑排水樋門
宇田野橋（弘前市）
大蜂川第四排水樋管
大蜂川第五排水樋管
大蜂川第六排水樋管
種市排水樋管
津軽りんご大橋（県）
玉川排水樋門（板柳町）
小友橋（県）
大臣管理区間
旧大蜂川
大石川
339
29 (145)
30 (150)
31 (155)
32 (160)
33 (165)
34 (170)
35 (175)
36 (180)
37 (185)
38 (190)
39 (195)
40 (200)
41 (205)

【参考】 水防災意識社会 再構築ビジョン

国土交通省

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに**「水防災意識社会 再構築ビジョン」**として、**全ての直轄河川とその沿川市町村**（109水系、730市町村）**において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。**

＜ソフト対策＞ ・住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

＜ハード対策＞ ・「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入し、平成32年度を目途に実施。

主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

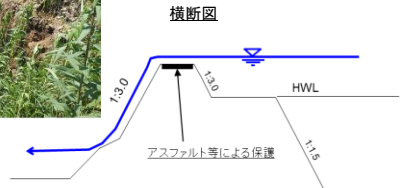
＜危機管理型ハード対策＞

○ 越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進
いわゆる粘り強い構造の堤防の整備

＜被害軽減を図るための堤防構造の工夫（対策例）＞



天端のアスファルト等が、越水による侵食から堤体を保護
（鳴瀬川水系吉田川、平成27年9月関東・東北豪雨）



＜洪水を氾濫を未然に防ぐ対策＞

○ 優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施



＜住民目線のソフト対策＞

○ 住民等の行動につながるリスク情報の周知
- ・立ち退き避難が必要な家屋倒壊危険区域等の公表
- ・住民のとるべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
- ・不動産関連事業者への説明会の開催

○ 事前の行動計画作成、訓練の促進
- ・タイムラインの策定

○ 避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
- ・水位計やライブカメラの設置
- ・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供

※ 河川堤防の決壊に伴う洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

＊「H27.12.11 国交省記者発表資料」を一部加筆し作成

【参考】岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会

国土交通省

大規模水害に備えた減災対策協議会では、岩木川の特徴を踏まえて
◆避難する　◆時間を稼ぐ　◆備えることにより氾濫被害の最小化を目指す

岩木川において、甚大な被害が発生した昭和52年8月洪水や、近年では平成25年9月洪水及び平成27年9月関東・東北豪雨等の教訓を踏まえ、**岩木川で発生しうる拡散型氾濫**による大規模水害に対して、**関係機関及び隣接する市町村が連携し地域を越えた避難行動**につなげ対応

■目標達成に向けた３本柱の取組

目標達成に向け、洪水を河川内で安全に流すハード対策に加え、以下の３本柱の取組を実施する。

１．住民の主体的で安全な避難行動を促すリスクコミュニケーション・地域を越えた避難行動

２．発災時に人命と財産を守る水防活動及び排水活動

３．水害に関する知識の向上と心構えの醸成

第２回協議会　平成２８年８月２９日　開催



◀　協議会開催状況（鶴田町役場　国際交流会館）

《委員構成》

青森市長
弘前市長
黒石市長
五所川原市長
つがる市長
平川市長
藤崎町長
板柳町長
鶴田町長
中泊町長
大鰐町長
田舎館村長
西目屋村長
青森県　県土整備部長
青森県　危機管理局長
気象庁　青森地方気象台長
青森河川国道事務所長
津軽ダム工事事務所長
浅瀬石川ダム管理所長